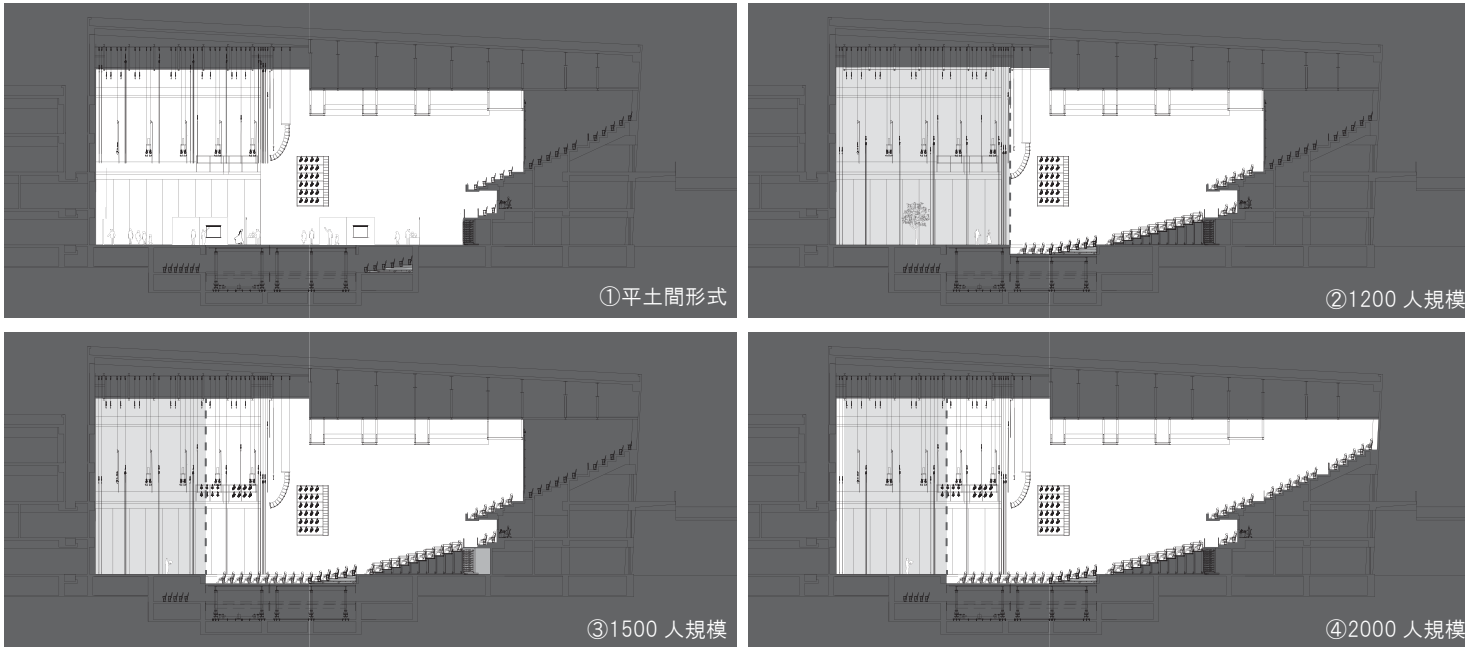


# 新山口駅北地区拠点施設整備事業 基本設計全体概要

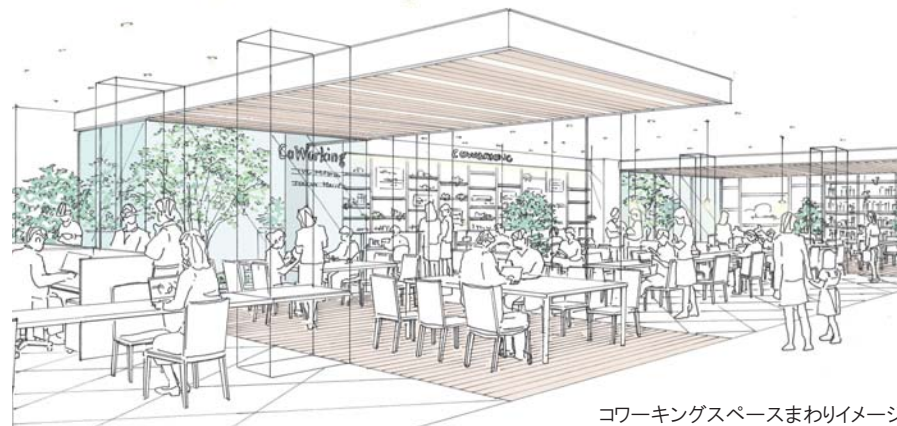
## ホール利用計画

多目的ホールは、2,000席の収容能力を有し、座席収納時には平土間としての利用など、様々な規模や用途等のニーズに柔軟に対応できる可変型のホールとして設計を行っています。「平土間形式」「1200人ホール」「1500人ホール」「2000人ホール」に変更可能であり、コンベンション、展示会等の開催だけでなく、ポピュラー音楽を中心としたコンサート、演劇、ライブビューイング等の開催も想定しています。



## ビジネスコミュニケーションの場

インキュベートルームやコワーキングスペース等を設置します。起業創業に関する支援、中小企業の経営相談、企業連携・協業の促進等、実践的なビジネス支援を行う窓口を併設します。起業創業支援、インキュベーション、コワーキング機能を連続的に配置し、ロビー等の共用部とあわせて、多様な方々にアクセスしてもらい、人や情報の行き交いが常に見えるオープンな空間づくりとします。このオープンな空間は、ワンストップ産業支援窓口をはじめ、隣接する他の機能とも連携することで、新たな交流やビジネスコミュニティを日常的に生みだしていきます。外部のネットワークや経済活動につながるなど、ハブ的な役割を發揮します。



コワーキングスペースまわりイメージ

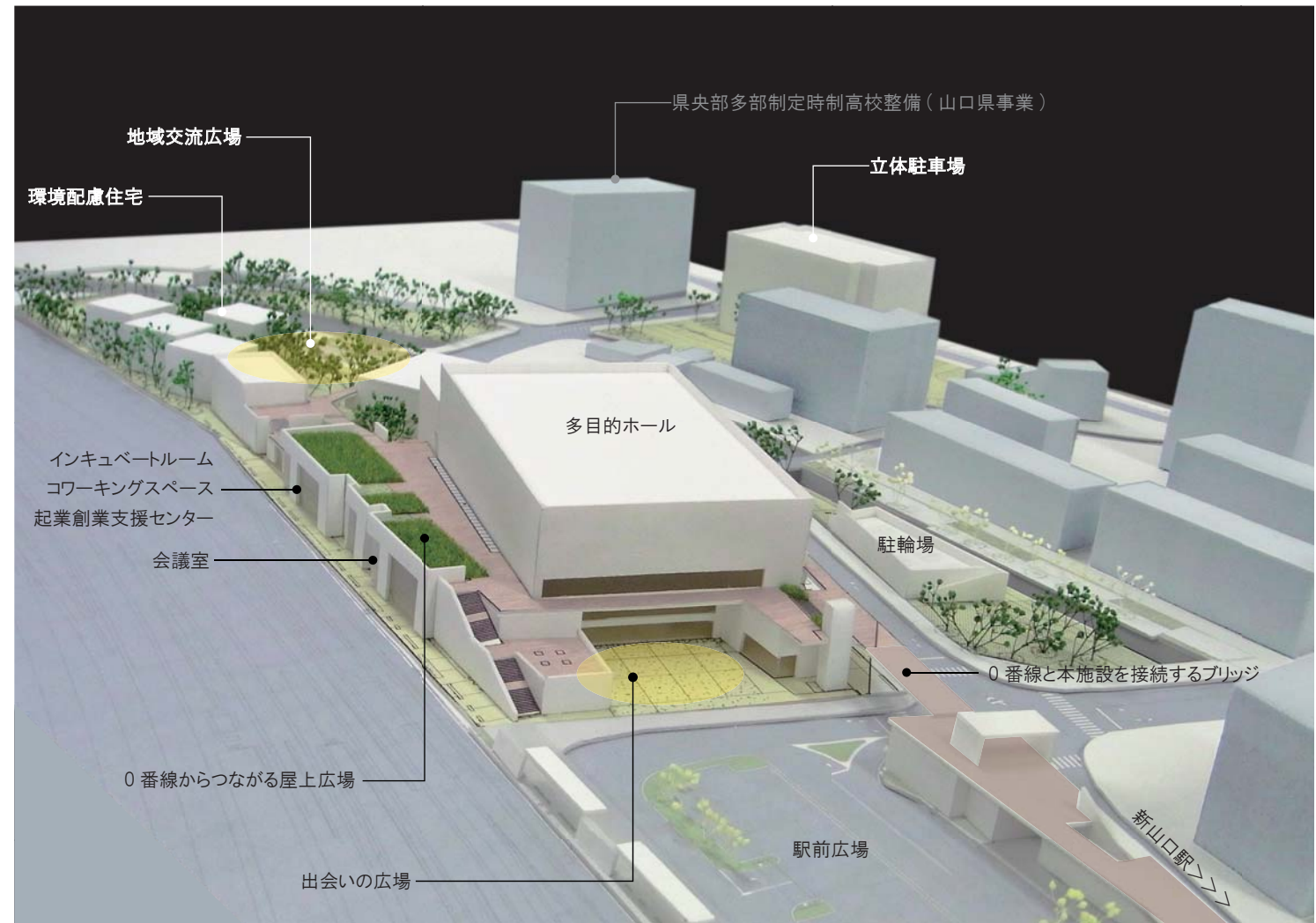
## 建物概要

Aゾーン			C1ゾーン	C2ゾーン
拠点施設敷地	民間収益施設敷地	駐輪場敷地	立体駐車場(自走式) 延床面積:約8,100㎡ 駐車台数:約400台 (平面駐車場を含む)	平面駐車場 駐車台数:約40台
<b>拠点施設</b> 延床面積:約11,000㎡ 階数:地上4階建 (ホールを中心とした複合施設)	<b>環境配慮住宅</b> (民間収益施設) 延床面積:約2,000㎡ 階数:地上3階建 住戸数:36戸程度	<b>駐輪場</b> 延床面積:約500㎡ 階数:地上2階建 駐輪台数:約400台	代表企業 森ビル都市企画株式会社 構成員 株式会社アール・アイ・エー 九州支社 大成建設株式会社 中国支店 積水ハウス株式会社 山口支店 株式会社コンベンションリンクージ	
<b>平面駐車場</b> 駐車台数:約50台	<b>ライフィノベーションラボ</b> 延床面積:約2,000㎡ 階数:地上3階建		問い合わせ先 〒753-8650 山口市亀山町2-1 山口市都市整備部新山口駅拠点施設整備推進室 TEL:083-934-2676 FAX:083-934-2654	

**工事費**  
基本設計段階では民間収益施設を除いた工事費をおよそ98億円(税込み)見込んでいます。今後の実施設計において、バリューエンジニアリング等により5%以上の工事費の削減を行います。  
**整備予定スケジュール**  
平成30年12月末までに実施設計、平成31年度当初～平成32年度末にかけて建設工事を行い平成33年度当初の供用開始を予定しています。  
※多目的ホールにつきましては工事完了後、機器等の調整が必要なため平成33年度の夏からの稼働を予定しています。

※今後、詳細設計において変更が生じることがあります。

## 全体イメージ

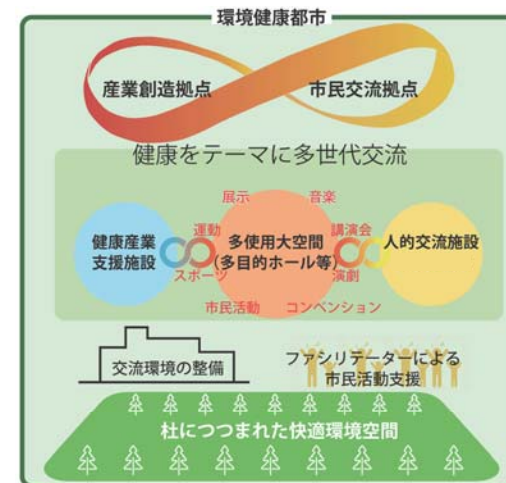


## 全体コンセプト

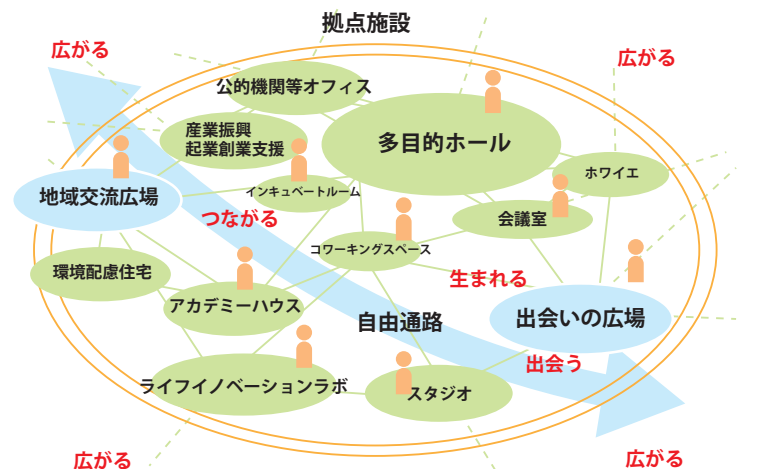
**「会おう、つながる、生まれる、広がる 環境健康都市」**  
市民が世代を超え交流し新たな産業が創出されるように、また、拠点施設での取組が周辺エリアあるいは県域を越えた広域な経済社会へと広がるように、多様な用途が集まり相乗効果と波及効果を生み出せる施設整備を行っていきます。

## 基本設計コンセプト

**「2つのおもて(顔)を持つ施設づくり」**  
施設東側と西側にそれぞれ大きな広場を設けています。駅前広場側の「会いの広場」は、ホールのホワイエが面し、ホールの活動が垣間見るとともに、ホールイベント等とも連携し交流が生まれるスペースとします。また、駐車場やまちに面する側の「地域交流広場」は、ライフィノベーションラボ、アカデミーハウス、環境配慮住宅と面し、イベント等を通じた地域住民と居住者、施設利用者等のコミュニティが育まれます。

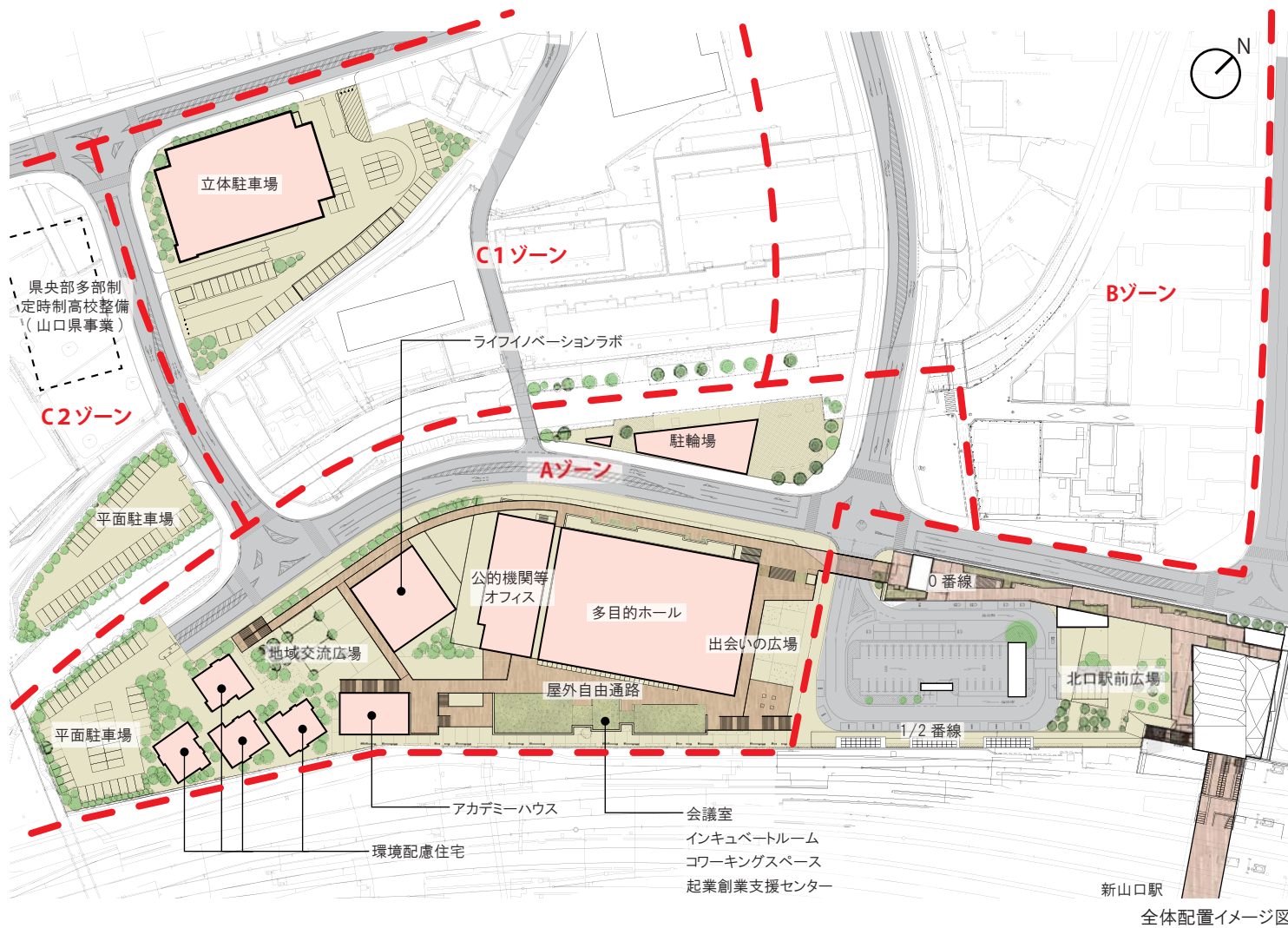


環境健康都市概念図



ゾーニングイメージ

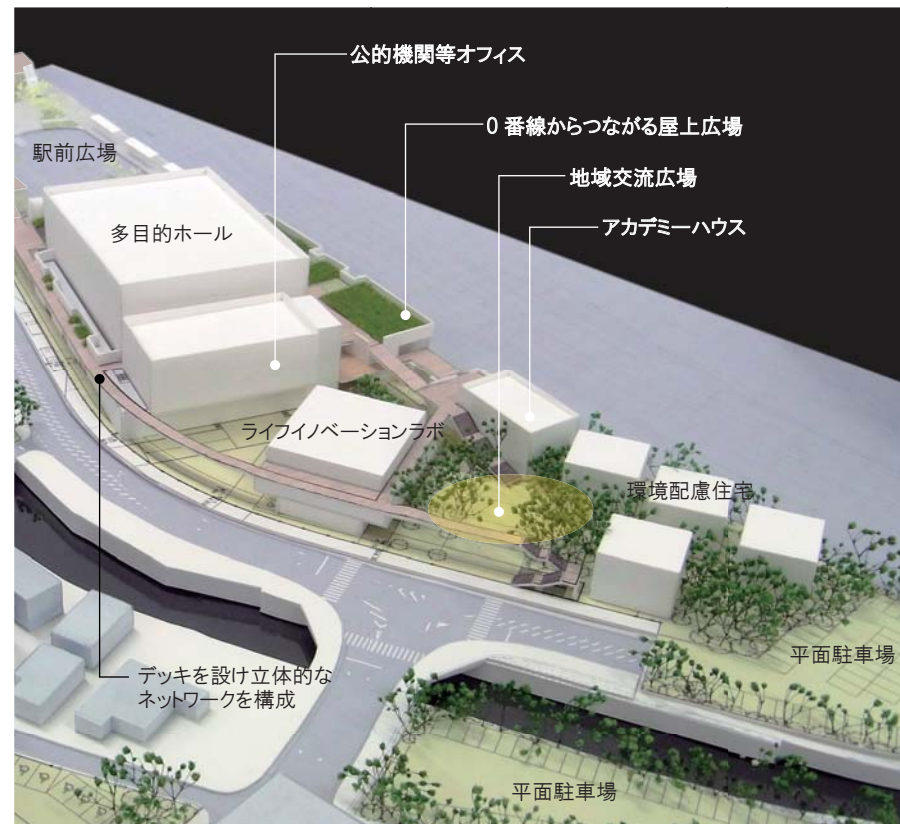
配置計画



全体配置イメージ図

拠点整備区域であるAゾーンにホールを中心とした複合施設となる拠点施設と平面駐車場を計画します。また、一部の敷地を民間収益施設である環境配慮住宅として計画します。向かいの敷地に駐輪場を整備します。駐車場整備区域であるC1ゾーンには立体駐車場を計画します。

様々な機能を分散配置し、自由通路や吹き抜け、スタジオ、広場などを介して、個々の機能の有機的なつながりとともに、施設全体の人々の動きを見渡すことができ、施設を移動するだけで様々な出会い、交流が生まれる空間づくりを目指します。

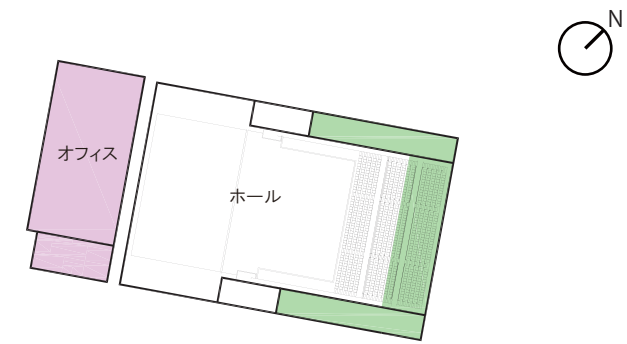


敷地西側から見た地域交流広場まわりのイメージ

施設構成

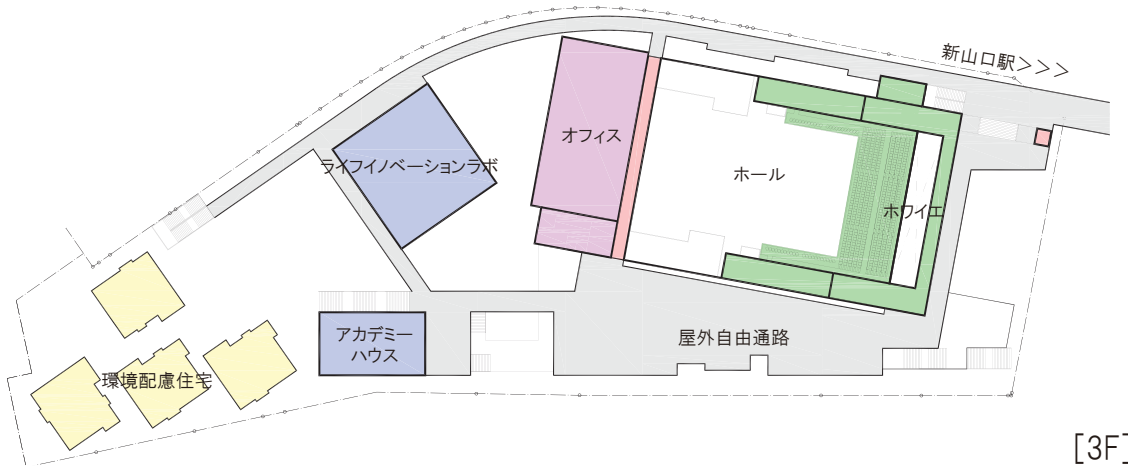
- スタジオ
- ライフイノベーションラボ・アカデミーハウス
- オフィス・起業創業支援等
- 共用部
- 環境配慮住宅
- ホール・会議室
- 管理室
- デッキ

ホール西側の3、4階に公的機関等のオフィスを配置します。



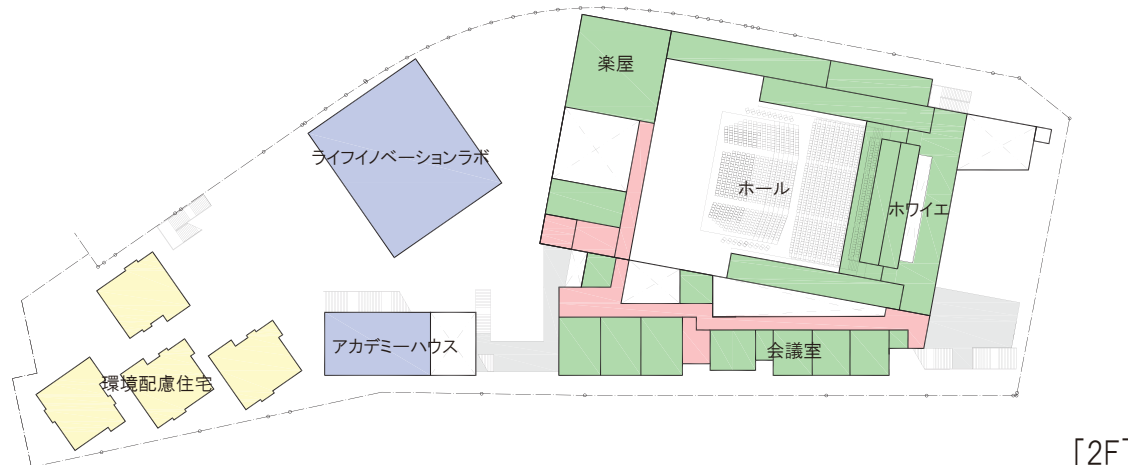
[4F]

3階レベルでホールを取り囲むように、新山口駅、0番線から続く屋外自由通路によるネットワークを構築しています。デッキレベルでオフィスにも繋がります。また3階ホワイエから直接屋外自由通路に出ることも可能です。



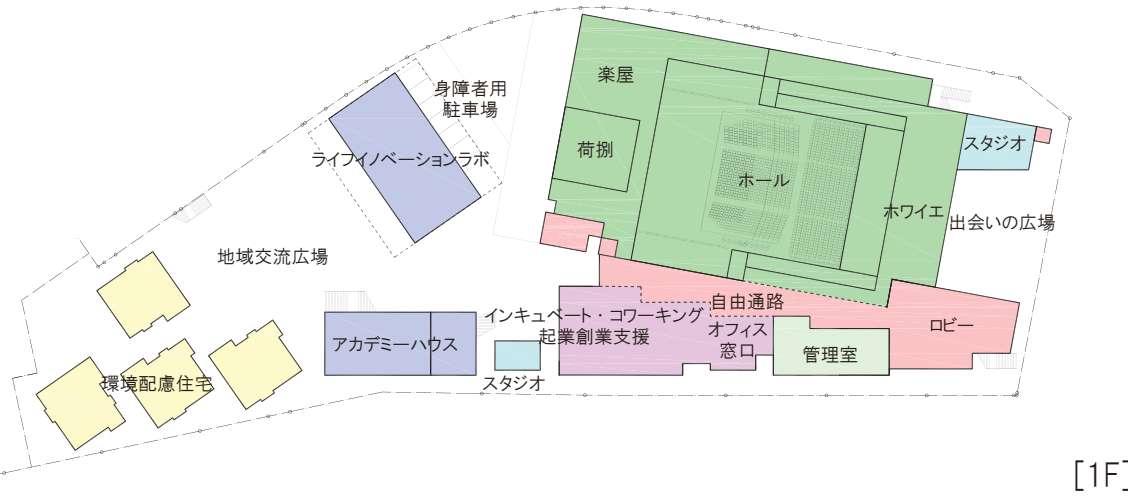
[3F]

ホール南側は、大小様々な規模の会議室を配置します。多目的ホール利用者による二次利用を円滑にするため、ホールに近接するかたちで配置します。



[2F]

鉄道騒音、振動の影響を考慮し、線路から離れた位置に多目的ホール・ホワイエを配置します。広いロビー空間でもある自由通路を挟みインキュベート・コワーキング・起業創造支援施設を連続的に配置します。出会いの広場に面してスタジオを、地域交流広場に面してアカデミーハウス、環境配慮住宅、ライフイノベーションラボ、スタジオを近接して配置します。



[1F]